

令和6年度生活習慣病検診等管理指導協議会 がん診療連携部会 議事概要

日 時：令和7年3月19日（水）19:00～20:00

開催方法：オンライン

【協議】

（1）岡山県がん診療連携推進病院認定要綱の改正について

【報告】

（1）岡山県がん診療連携拠点病院等の今後の認定スケジュールについて

＜発言要旨＞

【協議】

（1）岡山県がん診療連携推進病院認定要綱の改正について

○部会長

次第4 岡山県がん診療連携推進病院認定要綱の改正について協議に入る。
事務局から説明をお願いします。

（資料1～4について事務局から説明）

○部会長

ただいまの説明についてどなたかご意見はあるか。

○委員

説明の中で負担軽減のためという言葉があったが、なぜ負担を軽減する必要があるのか説明が欲しい。負担軽減というとどこの医療機関も負担がある。なぜここで負担軽減をする必要があるのか、少し補足説明をしていただきたい。

○事務局

資料のスペースの都合により、負担軽減と一律にまとめた表記にしている。推進病院は拠点病院と比べると体力的に劣る部分があり、その部分への配慮が必要と考えている。また、医師、看護師等も含めた医療従事者の人材配置の面でも配慮が必要と考え、負担軽減という表現で示している。

○部会長

放射線治療に関しても2名の治療医を育てることはなかなか難しい。県内でも難しく、鳥取県においてもまだかなり少ないようだ。骨転移など早期の治療が有効であると

いうのも実感しているが、業務が進むのであれば望ましいという表現でよいのではないかと思う。

口腔ケアはだんだんと進んでいるように思うがどうか。

○委員

口腔ケアにより、治療中の感染の減少だけではなく、患者の QOL も向上している。治療の完遂率が上がったことで予後も良くなっており、とても大切なことだと思う。

○部会長

最近特に注目され、医科歯科連携という話まで出ている。

○委員

医科歯科連携についてもどこまで連携できれば良いか連携病院の先生も大変だと思う。例えば要綱の中で連携に関して、県の方で連携の協力をする等の記載があると望ましいという要件だが、現実的なアプローチになるのではないか。

○部会長

歯科医師会でも仕組みや、相談できるコーナーができつつあるようだ。実際どの程度動いているのか把握はしていないが、歯科医師会の先生と会うたびにその話をよくするので、だんだんとできてくるのではないかと思う。

緩和ケアについても岡山県の中で全医師が緩和ケアについて研修を受けるという目標はあるが、大分充足されてきている。県医師会でも 12 月頃に研修会を実施しているが、受講者が減っている。もう少し緩和ケア研修への参加について呼びかけなければならないと思う。

○委員

緩和ケアの研修会だが、大部分の医師が研修を既に受講していることが参加者減少の理由と考えられる。今後は研修医の研修が主体になると思う。

推進病院の方にまで企画していただくのは大変だと思うので今回の要綱の内容でよいと思う。

○委員

「日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けていること」という項目があるが、ISO や国際基準のものもこれに含まれるのか。「日本医療機能評価機構等の評価」ではなく、「審査等」と記載されており日本医療機能評価機構に限定すると読める。

○事務局

国の整備指針でも、この書きぶりになっている。等の意味するところについて国に確認をする。

○委員

5 ページの才高齢者のがんに関して要件が緩和されている。今後高齢者のがん患者の増加が想定されているからこそリハビリ等も強化するという話だと思う。診療連携推進病院でも一般診療を含めてぜひ強化していただくべきポイントだと思うので、この部分は要件を緩和しない方がよいと思う。

○事務局

望ましいという表現を要綱から取った場合、現行の推進病院でも対応可能か、現時点で対応できているのかご意見を伺いたい。

○委員

望ましいと書かれているが、高齢者は単一の疾患の治療で終わることはあり得ないので、複数の診療科の専門知識、複数の診療科と言わずとも1人の医師が幅広く勉強して、できるだけカバーしながら必要に応じて関係課の協力を得るというのは当然のことだとは思う。

資料の通り、望ましいとすると取り組まなくてもよいと見えるので、私も委員の発言の通り要件を緩和しない方がよいと思う。

○部会長

連携がある程度取れる方策を常日頃から考えておく必要がある。県の方で強調したほうがよいと思う。

○事務局

望ましいという表現は取る方向で修正をさせていただく。

○部会長

少し修正意見をいただいたが、最終的な修正は部会長に一任させていただければと思う。これ以上発言はないようなので、次の議題に移りたいと思う。

【報告】

(1) 岡山県がん診療連携拠点病院等の今後の認定スケジュールについて

○部会長

それでは次第5報告事項の岡山県がん診療連携拠点病院等の今後の認定スケジュールについて協議に入る。

事務局から説明をお願いします。

(資料5について事務局から説明)

○部会長

認定されたらその都度、認定証書が交付されるのか。

○事務局

がん診療連携拠点病院については厚生労働省から認定証書が届き病院に送付している。

○部会長

これ以上発言はないようなので、本日の意見を踏まえて事務局で手続きを進めていただきたい。

次第6その他に入る。事務局から何かあるか。

○事務局

事務局からは特にない。

○部会長

これまでの内容を含めて他に質問や発言があるか。

これ以上の発言はないようなので、本日の予定は終了させていただく。会議の円滑な進行に協力いただき感謝する。

以上